

大会決議

名寄市において第六四回北海道手をつなぐ育成会全道大会が開催され、昨年は、第六十五回大会が北見市で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため中止になりました。第六十六回岩見沢大会は、本会大会史上初めての試みで、岩見沢市の会場と、全道各地の会場を遠隔で結ぶオンライン大会となりました。

制約のある生活や活動をよぎなくされている会員の皆さまには、こうした時代であるからこそ、大会の開催によって、心一つに、新たな知恵、新たな勇氣、新たな決意を分かち合えましたことは、主催者一同、大きな喜びであります。

今年四月、三年に一度の報酬改定も実施され、障害者の重度化・高齢化、医療ケア児や精神障害者の増加などに伴う障害児者のニーズへの対応、サービス利用の中核となる相談支援に係る質の向上等のための報酬改定が行われました。

一方、昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、障害福祉サービス等が利用者やその家族の生活を継続する上で欠かせないものであり、感染症等が発生した場合でも利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供されることが重要であることが再認識されました。

報酬改定後の事業所の経営実態を調査・検証する必要があります。

障害者自立支援法が施行されてから十四年、障害福祉サービスに係る国の予算は当初の4倍に膨れ上がりました。私たちは、生活を支える、命を支えるこの障害福祉制度が持続可能であり続けること、そして、障害福祉が確実に前進し続けるよう運動を展開していかなければなりません。

今大会は、「だれもが自分らしく暮らせる社会」を大会テーマとしました。
スローガンは「巻き起こそう！共生社会の実現を バラのまち岩見沢から」です。
育成会運動の原点に今こそ立ち戻り「親なき後の暮らしとは」「真の自立とは」の問いを共有し、そして「真の共生社会の実現」への想いを込めました。

ここに、次の事項が早急に実現されるよう、関係各位に強く要望していくことを、本大会の参加者 約400名において決議します。

一、子どもたちの発達支援と家族支援の体制整備

- ・子どもたち一人ひとりのニーズに応じた療育の保障と家族支援の確立
- ・障害のある人もない人も共に学ぶことを通じて共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育の推進
- ・子どもや兄弟に障害があることよって起きる家族の社会的孤立を防ぐための相談支援の強化
- ・身近な地域で教育を受ける権利の保障と高等支援学校入学選抜方式の見直し

一、障害者総合支援法が持続可能となる社会保障制度の確立と障害福祉関係予算の拡充

- ・安定した社会生活を送るための所得保障の確立と障害基礎年金に加算給付制度の創設
- ・障害の多様化に対応するためのグループホームの整備促進と必要予算の確保
- ・グループホーム家賃補助制度の更なる充実
- ・地震や風水害などの災害時対策として障害者の命を守る視点から福祉避難所を含む防災対策の強化
- ・重度心身障害者医療費助成制度を中度、軽度者にも適用拡大

一、安心して暮らせる地域社会の実現と障害福祉サービス基盤整備の促進

- ・地域での身近な相談支援体制の確立
- ・サービス提供体制の地域間格差の是正とサービスを受ける権利の保障
- ・障害の重軽に関わらず働く意欲が尊重される就労、雇用支援制度の確立
- ・重度化、高齢化、親なき後を見据えた地域生活支援拠点等、日中サービス支援型共同生活援助の整備促進

- ・介護サービス包括型グループホームにおいても入居者の重度化、高齢化を見据え日中支援加算算定日数上限の撤廃

- ・六五歳介護保険優先の原則の機械的運用の見直しと障害福祉サービス利用継続の自己選択制の導入
- ・法改正後の療育手帳（障害者手帳）のカード化の推進の実現と手帳かカードの本人選択の実現を

一、差別や偏見、権利侵害のない共生社会の実現に向けた取組み

- ・市町村虐待防止センターの整備と北海道障害者条令の推進
- ・障害者差別解消法及び合理的配慮の周知、啓発活動の強化推進
- ・本人の権利が擁護され、使いやすい成年後見制度への見直しと意思決定支援の確立
- ・障害の有無に関わらず互いに尊重しあい、命と尊厳が守られる社会の実現

以上、決議します。

令和三年七月三十一日

第六六回 北海道手をつなぐ育成会全道大会 岩見沢大会